

Adobe Photoshop でのデータ入稿

- ・ドキュメントの基本的な設定
- ・塗り足しと天地方向の確認
- ・レイヤーの統合・保存

Ps ドキュメントの基本的な設定

● 仕上がりサイズが A4 の画像を新規作成する場合は。

① ファイルメニューから新規を選択します。



② 仕上がりサイズ + 塗り足し(片側 3mm)を入力します。今回は、仕上がりサイズが A4(210mmx297mm)なので、

(幅) 210mm + 左端 3mm + 右端 3mm = 216mm

(高さ) 297mm + 上端 3mm + 下端 3mm = 303mm

となります。

③ 印刷において、画像の解像度は原寸サイズで、300dpi~400dpi が理想とされています。

当社は、350dpi を推奨しています。(※単位は pixel/inch です)

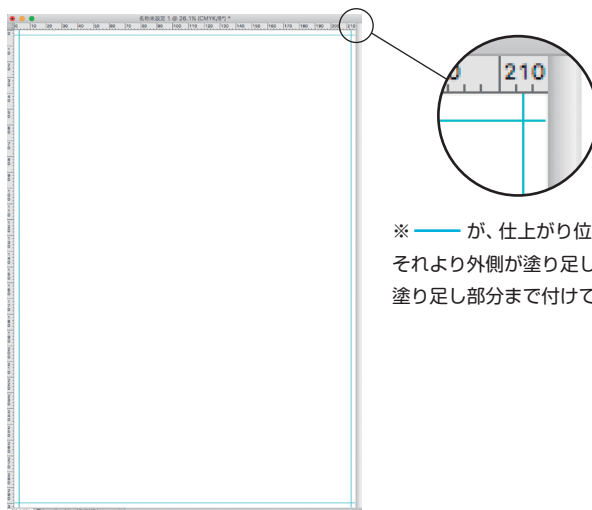
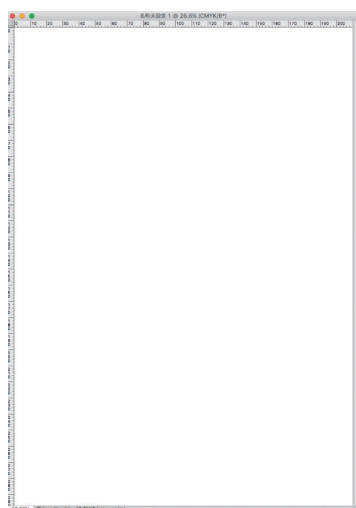
④ カラーモードは、必ず CMYK - 8bit にしてください。

⑤ カラープロファイルは、Japan Color 2001 Coated にしてください。

※モノクロ(1 色)で印刷する場合

カラーモード	解像度
グレースケール - 8bit	600dpi
モノクロ 2 階調 - 1bit	1200dpi

● ドキュメント作成後は、仕上がり部分にガイドラインを引くと、作業がしやすくなります。



※ — が、仕上がり位置になります。
それより外側が塗り足しです。絵柄は
塗り足し部分まで付けてください。

Ps 塗り足しと天地方向の確認

- 作成データの塗り足しを確認してください。

仕上がり位置のギリギリの所に文字や絵柄などがあると、断裁時に切れることがありますので、仕上がり位置よりも3mm 以上離してください。



- ※ 3mm塗り足しを付ける。
- ※ 仕上がり位置にある文字や絵柄を3mm以上内側にする。

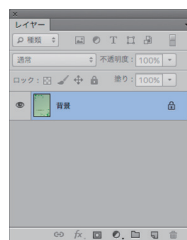
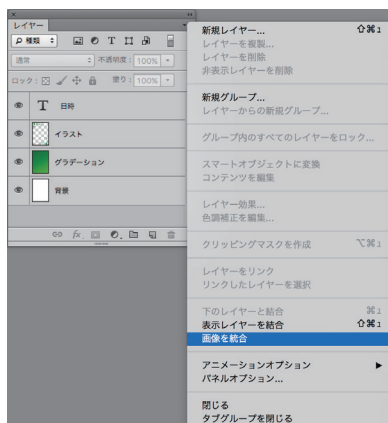
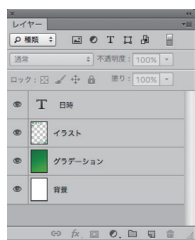
- 絵柄によっては、天地左右方向が分からないものがあります。特に両面印刷では、表裏の関係が分からないと印刷出来ません。データ入稿時は必ず出力用データとは別に、天地左右方向が判断できるものを添付してください。

(例)



●データ作成時、複数のレイヤーを使用した場合は、必ずレイヤーを統合して保存した画像を入稿してください。

保存形式は、Photoshop EPS 形式を推奨しています。(Photoshop 形式や TIFF 形式でも入稿可能ですが、



※ 不要なチャンネルも入稿データとして保存するときは、

必ず削除すること。

・(Photoshop EPS 形式で保存する場合)

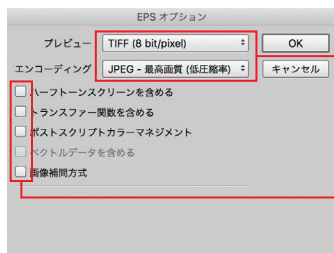


- ・全てのチェックを外す。



- ・ CMYK 以外のチャンネルが残っていたり、レイヤーが統合されていない場合はエラーメッセージが出ます。

レイヤーの統合、チャンネルの削除をしてください。



- プレビュー …… Mac で CS5 以前は「Macintosh(8bit/pixel)」、Windows と Mac CS6 以降は「TIFF(8bit/pixel)」

- エンコーディング …… 「JPEG - 最高画質(低圧縮率)」

- 全てのチェックを外す。